

1月1日 住所	弘前市大字	氏名		業種	
事業所 所在地				屋号	

○農業所得の内訳

経営 面積	水田		りんご畑		普通畑	
	アール		アール		アール	
収入 金額	区分			数量	金額	
	水稲	農協販売分		俵	円	
		家事消費・贈答分				
		小計				
	りんご	農協販売分	期首(5年産仮渡金額)	ア	箱	
			5年産販売金額	イ		
			6年産販売金額	ウ		
			期末(6年産仮渡金額)	エ		
			計(イ+ウ+エ-ア)			
		市場販売分				
		加工用				
		家事消費・贈答分				
		小計				
	その他					
		家事消費・贈答分				
		雑収入				
	6年末在庫					
収入金額合計(申告書表面A収入金額欄へ)					A	円
必要 経費	雇人費		円 修繕費		円	
	労賃・賄い費など		事業用資産の修理費等			
	小作料・賃借料		動力光熱費			
	農地の賃借料など		ガソリン代など			
	減価償却費		作業用衣料費			
	下段内訳より		ヤッケ、長靴、手袋代など			
	利子割引料		農業共済掛金			
	事業用借入金利子		農業用共済掛金			
	租税公課		荷造運賃手数料			
	事業に関する税金		包装費用や運賃など			
	種苗費		土地改良費			
	種もみ代、苗代など		土地改良事業費など			
	肥料費					
	肥料代					
	農具費					
	農具代					
	農業衛生費					
	農業代、共同防除費など					
	諸材料費		雑費			
	農業資材代、箱代など					
必要経費合計(申告書表面B必要経費欄へ)					B	円

◇減価償却費の計算

平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産《償却率は13ページ中段の C I をご確認ください。》

減価償却資産の名称等	取得年月	取得価額(A)	償却の基礎になる金額(B)	耐用年数	償却率(C I)	本年中の償却期間(D)	事業専用割合(E)	必要経費算入額A×C I×D×E
	・	円		年		/12月	%	円
	・					/12月		
	・					/12月		
計		(農業・営業等所得の必要経費減価償却費欄へ)						円

平成19年3月31日以前に取得した減価償却資産《償却率は13ページ中段の C II をご確認ください。》

(償却可能限度額まで達した償却資産は、その翌年以後5年間で残存価額を均等に1円まで償却することができます。)

減価償却資産の名称等	取得年月	取得価額(A)	償却の基礎になる金額(B)	耐用年数	償却率(C II)	本年中の償却期間(D)	事業専用割合(E)	必要経費算入額A×C II×D×E
	・	円	円	年		/12月	%	円
	・					/12月		円
計		(農業・営業等所得の必要経費減価償却費欄へ)						円

○営業等所得の内訳

収入金額	売上金額		円		
	家事消費				
	その他の収入				
収入金額合計(申告書表面A収入金額欄へ)			A	円	
売上原価	期首ア		円		
	仕入金額イ				
	期末ウ				
	差引原価(ア+イ-ウ)				
必要経費	給料賃金		円	通信費	円
	従業員の給与など			電話料、切手代など	
	外注工賃			広告宣伝費	
	下請への発注額など			宣伝費用	
	減価償却費			接待交際費	
	下段内訳より			顧客への接待費など	
	地代家賃			損害保険料	
	店舗等の賃賃料			事業用資産の保険料	
	利子割引料			修繕費	
	事業用借入金利子			事業用資産の修理費等	
	租税公課			消耗品費	
	事業に関する税金			事務用品代など	
	荷造運賃			福利厚生費	
	包装材料費など			事業主負担の保険料	
	水道光熱費				
	事業用の水道光熱費				
	旅費交通費			雑費	
	電車代、バス代など				
	必要経費合計(申告書表面B必要経費欄へ)			B	円

◇雇人費・給料賃金の内訳 (農業・営業等所得の必要経費の雇人費・給料賃金欄へ)

住所		氏名
作業	日数	現金・現物
	延 日	円
住所		氏名
作業	日数	現金・現物
	延 日	円
住所		氏名
作業	日数	現金・現物
	延 日	円